
災害時の廃棄物対策

浅利美鈴（京都大学）

「ごみ」（廃棄物）は、生活や社会を映す鏡のようである。家庭ごみを調べてみると、もったいないごみがたくさんあるし、何を減らせばよいかも見えてくる。そこで、まずは、今どきの「ごみ」の基礎的な話をする。

その後、災害時の廃棄物対策について話す。災害後の復旧・復興のプロセスにおいて、非常に重要なのが、災害廃棄物（がれき）の撤去と処理である。東日本大震災は、大規模な災害廃棄物問題も抱えているが、日常からの3R（リデュース・リユース・リサイクル）が活きた場面も多くみられた。実際に3月末から現地に入って力を入れてきた分別・処理の支援状況、そこから学ぶことについて話す。